



日本共産党香川県委員会 え、新春のつどいを開きま  
と党後援会は18日、高松 した。7月の参院選で香川  
市で市田忠義副委員長を迎 県議出身の白川よう子候補  
を はじめ比例5人の勝  
利で政治を前に動かそ  
うと、参加者の熱気であ  
ふれました。

白川氏は、活動地域の  
西日本17県を回ると  
「どこでも大軍拡の大  
波にさらされている」  
と実感を吐露。市民の  
暮らしをよくするため  
は、大本にメスを入れる党  
の前進が不可欠として  
て「力を合わせて比例  
5議席を必ず勝ち取り、  
国会へ駆けあがる。へ  
び年の今年、私自身も  
大きく脱皮する」と力

**高松駅で1・15一斉宣伝行動**  
**全教・香川県労連**

1月15日、JR高松駅前  
で、香川県教職員組合と県  
高等学校教職員組合が中心  
となり県労連へ結集する単  
組も参加して「教職員の増  
員と長時間労働の解消」を  
訴えました。

4人の「2面につづく」

## 市田副委員長迎え 新春のつどい 二つのゆがみに切り込む党 参院選で躍進を



定価 月100円  
発行所  
民主香川社  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311



党づくりを一体的  
に取り組みたい  
い。この年頭の  
集いを跳躍台に  
みなさんの総決  
起を」と呼びか  
けました。

4月の丸亀市  
議選で複数議席  
に挑戦する中谷  
まゆみ「現」、  
ささい孝志「新

強く決意表明  
しました。

市田氏は参  
院選の意義に  
ついて、自民  
党政治の延命  
に手を貸す党  
が伸びても変  
わらず「アメ  
リカいいなり  
大企業中心の  
二つのゆがみ  
に切り込む党の躍進でこそ  
自民党政治を終わらせる展  
望が開ける」と力説。比例  
改選4から5議席の当選に  
全国の党機関、支部が責任  
を持つと述べました。

「各地で『あなたの要求  
聞かせてください』とさま  
ざまな形で対話してきた経  
験がある。4月末までに5  
00万要求対話・要求アン  
ケートと選挙に向けた活動

**「日本・日本人すごい」論がTV  
や新聞で流れてき  
ます。しかし、自  
画自賛をしている  
場合ですか？例え  
ば、フラック企業  
や闇バイト、TV  
局やジャニーズのような大手  
プロダクションでの性加害問  
題、宝塚歌劇団でのいじめ問  
題など人権問題が毎日のよう  
に噴出していきます。**

確かに、自分の国を愛する  
愛国心は「内心の自由の問題」  
で他者や国家に強制されない  
ので、個人の内心で「日本が  
好きでも嫌いでもどちらでも  
よい」です。しかし、いくら  
自画自賛をしても、現実の日  
本が人権後進国なのは変わり  
ません。

「日本・日本人すごい」論よ  
り、「ジェンダーギャップ指  
数が世界146カ国中118  
位(2024)」「世界租税  
支出透明性指数(GTPI)で1  
04カ国中94位(2024)」「  
「国連が日本に人権状況の審  
査で4度目の勧告(115カ  
国から300の勧告、202  
3)」などの、等身大の日本  
の本質的な改善点や課題を調  
べ「どう変革や改革を行うか」  
を話しませんか。(ま)

## 県内1基目の憲法9条の碑

綾川町で2024年  
11月2日に香川県で初  
となる憲法9  
条の碑の1基  
目が建立され  
ました。昨年  
12月時点で全  
国には50基。  
12月8日には  
平和病院前で  
香川県での2  
基目が建てら  
れました。

「日本政府  
の大軍拡の流  
れを食い止め、  
憲法9条に基  
づいた平和へ  
の意志や運動  
を広めたい」  
という故安藤  
利光前綾川町



議の遺志を形にするた  
めに、憲法9条が前面  
に刻まれ、遺族の了承  
を得て、歴代の反戦平  
和の運動に身を投じた  
日本共産党の安藤氏を  
含む5人の前綾川町議  
（「憲法をくらしに」  
の文言と、平尾正雄、  
小田忠男、三好正幸、  
岡田美代子、安藤利光  
各前町議）の名前が刻  
まれました。

## 郷土辞典「笠居郷探訪」(二部抜粋) 23 奉安殿

著者 立山 信浩

御真影(天皇・皇后の写真)  
教育勅語謄本などを奉安するた  
めに1920年代から30年代  
にかけて全国の小学校敷地内に  
建てられた施設。

奉安殿は校地内で最も清浄・  
神聖な場所であるとされ、生徒  
はみだりに近づいてはならず、  
登下校の際などに近くを通る場  
合は奉安殿に最敬礼することを  
義務づけられた。

校長は、国の三大節には儀式  
の場に奉安殿から出した御真影  
を掲げ、教育勅語を奉読した。  
生徒職員は最敬礼の姿勢を保っ  
たまま、勅語を聞いた。

※三大節とは、四方拝(1月  
1日)、紀元節(2月11日)  
天皇節(天皇誕生の祝日)。  
昭和2年(1927)以後、  
明治節(明治天皇誕生日)が  
加わって四大節(しだいせつ)  
となった。いずれも第二次世  
界大戦後廃止された。

※御真影は宮内省が送付し、  
1930年代までにはほぼ全  
国の学校に普及したが、香川

県ではそれより早く明治23年  
(1890)10月23日、県下  
の高等小学校に対して御真影  
拝受のために県庁に出頭せよ  
という通知が出されている。

香西小学校の場合、平賀校舎  
(旧校舎)では昭和3年(19  
28)6月に奉安庫が設置され、  
移転新築した西打の新校舎には  
昭和9年(1934)4月に正  
面玄関の前庭に奉安殿が建てら  
れた。

※昭和20年(1945)12月  
30日、県内の中学校・国民学  
校の御真影が県に奉還された。  
※昭和21年(1946)7月  
に県内の各学校の奉安殿の撤  
去、10月に教育  
勅語奉読の禁止  
11月3日に日本  
国憲法公布。

「年に四、五回、  
全校生徒が講堂で  
整列して、教育勅  
語を聴く儀式があ  
りました。講堂に



入る前から独特の雰囲気、緊張  
しました。講堂に入ると緊張  
はさらに高まって、咳をするの  
も恐ろしい感じでした。正面の  
演壇は緞帳が降りていて、その  
緞帳の後ろから、ギギッと扉  
が開く音が講堂に響きます。そ  
の音が止み、全校生が最敬礼す  
る中で緞帳が開き、校長先生の  
教育勅語奉読がはじまります。  
生徒は最敬礼の姿勢を保ったま  
ま謹聴します。咳はできません。  
鼻水が垂れてきてもすすれませ  
ん。垂れたままです。それでも  
バレないように薄目を開けてチ  
ラッと見ましたら、校長先生の  
後ろの壁の、普段は閉まってい  
る観音開きの扉が開いており、  
そこに御真影がこちら向きに掲  
げられていることが一瞬わかり  
ました。白い手袋の校長先生が  
御真影を背景に、教育勅語を奉  
読しました。御真影は、式典に  
先立って奉安殿から講堂に運ば  
れて来たものです。式が終わる  
と緞帳が降りて、その後ろで  
何やら音がしています。観音開  
きの音がギギッと聞こえて、  
て、やがて緊張がほぐれてき  
ます。咳や、鼻水をすす  
る音が講堂中に響きます。  
そのあと、もう一度緞帳  
が開いて、校長先生の講  
話があるのです」。